

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 AIAIPLUS村上駅前

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	1	基準の床面積を確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	3	2	2	基準に準じた配置をしている	今後より良い支援を提供する為、専門職員の配置を検討しております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		昼礼や夕礼を通して職員に連絡内容の共有を毎日行っているが、経過記録にも記載し通達漏れが内容対応している	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1			いただいた意見を職員で共有し、HPで公表しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	1		いただいた意見を全職員で共有しております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	4	1		会社での研修の機会をもっと増やしていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		ケース会議を通して振り返りを行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		計画的にお子さまの支援の評価を行い、利用時の様子に合わせて支援内容を変更している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	1		必要に応じて検討いたします。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		個別での支援を基本としながら、お子様の発達の状況を考慮し小集団での支援も行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			昼礼、夕礼を通して職員に連絡内容の共有を毎日行っている。支援のFBを必ず行い次回の支援に生かすようにしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			職員間で支援の共有をしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			支援については必ず記録をし、利用時には前回の支援内容を確認し支援を行っている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			職員間で支援の共有をし、内容の申し送りをしている。	
関係機関 や保護者との	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	1			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	1		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	1	保護者との情報共有にて対応している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	3	対象の児童なし。	医療的ケアが必要なお子さまの受け入れはございません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			必要なお子さんは随時対応している。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		4	移行する児童なし。	対象となる利用者様がおりません。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		見学には行ったが研修は受けていない。	専門機関との連携についても、今後検討してまいります。

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		4	現在は対応していない。	ニーズに応じて検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		3	放課後連に参加し情報共有に努めている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			お迎えの際に当日ご利用の様子をフィードバックしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	1	ペアレントトレーニングについては研修は特に行っていないが保護者からの相談などには随時対応している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約締結時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			ご相談があった際は迅速に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	2	本年度も定期的な開催を検討している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		苦情などの対応については契約時に説明を行っているが、ご意見をいただいた際は迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		毎月AIAIPLUS通信を発行し連絡先も記載している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	1			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		特性に沿った支援を行うよう配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	3		ご希望があれば検討したいと考えております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		マニュアルは作成し、職員間では共有済。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		定期的に避難訓練を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	1	虐待防止研修を実施し、チェックリストで全職員対応している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		契約時にやむを得ない場合身体拘束を行う事を説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			7	食事の提供なし。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		全職員必要時記載し、職員間で共有している。	